

令和 6 年度事業実施状況

【研修部関係】

I 国際協力研修事業

1 8 日本語・日本文化研修事業（日本語高等研修等）	33
1 9 日本語・日本文化研修事業（国際人材育成事業）	35
2 0 グローバル人材育成事業	39
2 1 国際協力機構（JICA）受託研修事業	40

II 地域の国際化推進事業

2 2 地域の国際化推進事業（地域交流イベント）	44
2 3 国際協力情報の収集・提供事業（ひろしま国際プラザ情報センター・図書室等運営事業）	60
2 4 NGOの人材育成・情報提供事業	62

III ひろしま国際プラザ施設管理運営事業

2 5 ひろしま国際プラザ施設管理運営事業	63
-----------------------	----

(研修部：I 国際協力研修事業)

18 日本語・日本文化研修事業（日本語高等研修等）

1 目的

海外からの研修員等に対し、業務や研究及び日常生活に必要な日本語能力の向上や日本文化の理解の促進を図るとともに、国際協力・国際化の進展に寄与する（広島県からの受託事業）。

2 事業概要（平成9年度(1997年度)開始）

日本語・日本文化研修：海外からの研修員等を対象に日本語及び日本文化の研修を実施

3 令和6年度実績

研 修 名 等		人 数	実施期間	内 容
日本語 高等研修	2週間 集中プログラム	16人	A日程 8/5～8/9 8/26～8/30 B日程 8/19～8/23 9/9～9/13	外国人留学生が大学院で研究活動を行うために必要な論文作成・発表、討論等の高度な日本語能力を習得するための研修
	半年プログラム	7人	10/7～3/7	
海外日本語 教師養成 研修	東南アジア	インドネシア：3人 ベトナム：3人	10/23～12/18	アジア・太平洋地域等の日本語教師を対象に、日本語教師に必要な日本語教授法の習得及び日本語運用能力の向上のための研修



日本語高等研修 2週間集中プログラム



海外日本語教師養成研修

研 修 名 等		人数	実施期間	内 容
J E Tプログラム 日本語・日本文化研修		45人※	8/19～8/23	J E Tプログラムにより広島県及び 県内市町に派遣される海外の青年に 対する日本語・日本文化事情研修
海外大学日本 語・日本文化体 験プログラム	富川大学（韓国）	6人	1/4～1/19	アジア・太平洋地域等の高等教育機 関の学生で、日本語・日本学を専攻 している者、あるいは日本理解・広 島理解を希望する者を対象にした日 本語・日本文化研修
在外県人会後継者育成支援等事業		在外県人会： 14人 (他引率1人) グアナフアト州： 10人 (他引率2人)	在外県人会 7/31～8/9 グアナフアト州 7/31～8/7	ハワイ・北米・中南米の在外広島県 人会及び広島県の友好提携先のメキ シコ・グアナフアト州から青少年を 広島に招き、広島への理解を深めて もらう交流プログラム

※ 研修対象者は45名であったが、諸事情により研修に参加しなかった者が2名いたため、研修を修了した研修員は43名であった。

(研修部：Ⅰ 国際協力研修事業)

1 9 日本語・日本文化研修事業（国際人材育成事業）

1 目的

海外からの学生等に対し、日本語・日本文化研修や生活支援等を実施し、日本への理解の促進を図るとともに、国際交流の進展や国際的な人材の育成に寄与する。

2 事業概要（(1)～(3)平成18(2006)年度開始、(4)平成26(2014)年度開始）

(1) 青少年等日本文化体験研修

海外から教育旅行で広島県を訪問する青少年に対し、日本語の授業、日本文化体験、日本の歴史・産業の見学、及び地域住民・学生との交流の機会（ホームステイ・ビジットも実施）を提供する。

【5泊6日の場合の代表的な日程例】

日	曜日	時間	内容
1日目	木	午後	福岡・大阪・東京等から到着 HIP チェックイン、開講式、日本語授業
		夕方	日本文化体験（浴衣の着付けなど）
2日目	金	午前	広島市内見学
		午後	（平和記念公園、マツダミュージアム、お好み焼き体験など）
		夕方	ホームステイ
3日目	土	終日	ホームステイ
4日目	日	午前	ホストファミリーとお別れ
		午前・午後	宮島（厳島神社）、もみじ饅頭づくり体験など
5日目	月	午前・午後	学校訪問 （生徒との交流、授業・クラブ活動参加など）
		夕方	日本文化体験（茶道など）
6日目	火	午前	閉講式 次の訪問地に向けて出発

【研修部で実施可能な日本文化体験の例】

茶道、生け花、折り紙、浴衣の着付け、絵手紙、書道、和食（巻き寿司など）、お好み焼き、和菓子、折り鶴アート、殺陣、竹とんぼ製作、日本の遊び（竹馬・けん玉等）

(2) 海外自治体・大学等国際化研修

海外の自治体職員や教育機関・大学の教職員・学生などに対する研修プログラム。ノンネイティブ日本語教師のための研修（日本語・日本文化・授業改善など）や、海外で日本語や日本文化を学んでいる人のための実践的な日本語研修などを行う。

(3) 企業等国際化研修

企業等が受け入れる外国人研修員に対し、HIPに宿泊しながら日本語や日本文化の学習の場を提供する研修プログラム。

昼間に会社・工場などで技術研修を受け、HIPに帰ってから日本語クラスや日本文化体験を行うことも可能。また、企業からの要望に応じて、日本の生活を開始するためのオリエンテーション、健康診断、役場への届け出、銀行口座開設などの支援、日本語集中講義なども行う。

(4) グローバルリレーションズ・プログラム (GRP)

ひろしま国際プラザに入居して、所属の大学に通いながら、国際社会で活躍できる「実践力」を身につけることができる外国人留学生のためのプログラムを実施する。

レジデントアシスタント (RA) の日本人学生を配置し、プログラムに参加する留学生を支援している。

区 分	グローバルリレーションズ・プログラム (GRP)
ねらい	ひろしま国際プラザに入居して、次の能力を養う。 ア 日本語及び日本文化・事情理解 イ 次世代のリーダー・グローバル人材として必要な能力 ウ 多文化共生・協働・平和を希求する精神
プログラム 内容等	ア 地域交流等 ・ ひろしま国際センター等が行う各種の地域交流イベントや研修事業へ参加し、イベントの中で自国の文化等を紹介したり、イベントや研修事業の運営を支援する。 ・ 実施時期：随時 イ 留学生間の交流 RAの主宰のもと、定例的なミーティングを開催し、入居留学生の相互交流とともに、ひろしま国際センターの国際交流イベントへの協力や生活のことなどについて、情報交換を行う。 ウ 日本語の学習支援 ひろしま国際センターの日本語講師陣に日本語能力試験の勉強法などが相談できる。
参加期間	1年間（原則最大2年間）
累計参加者	事業開始（平成26(2014)年度）以降 延べ25ヶ国133人（令和7年3月末現在） （内訳） 中国46人、ベトナム15人、フィリピン9人、バングラデシュ7人、パキスタン6人、タイ5人、アフガニスタン5人、インド5人、イラン5人、インドネシア5人、韓国4人、エジプト4人、カンボジア3人、メキシコ2人、シリア2人、アンゴラ・イエメン・ウズベキスタン・スリランカ・ナイジェリア・ネパール・フランス・アメリカ・チリ・ジャマイカは各1人

3 令和6年度実績

区分	研修名等	人数 (引率・外数)	実施期間	備考
青少年等日本文化体験研修	令和6年度JSC日本語・日本文化体験研修	12人 (4人)	5/7～5/12 (5泊6日)	インドネシアのジョグジャカルタ第一高校(6名)・ジョグジャカルタムハムデイヤ第二高校(5名)・ブディ・ムリア・ドゥア専門学校(1名)の生徒12名を対象とした日本語・日本文化体験研修
	2024 St. Bernard's College 日本文化体験研修	16人 (3人)	9/20～9/23 (3泊4日)	オーストラリアの St. Bernard's College の生徒を対象とした日本文化体験研修
	2024 MacKillop Catholic College & Sacred Heart College 日本語・日本文化体験研修	22人 (4人)	9/24～9/30 (6泊7日)	オーストラリアの MacKillop Catholic College (11名)、Sacred Heart College (11名)の生徒22名を対象とした日本語・日本文化体験研修
	国際青少年サイエンス交流事業 (さくらサイエンスプログラム) インドネシア及びフィリピン高校生	6人 (2人)	12/1～12/7 (6泊7日)	科学技術の分野において日本と世界の国と地域の青少年が交流を行うもので、科学技術振興機構の支援により行われる事業
	2024 桃園市 広島研修	12人 (2人)	12/7～12/13 (6泊7日)	広島県教育委員会が教育協力協定を締結している台湾・桃園市の高校生を広島に招き、日本文化等を学ぶ研修プログラム
	2024 クイーンズランド州STEM広島研修	13人 (2人)	12/8～12/14 (6泊7日)	広島県教育委員会が教育協力協定を締結しているオーストラリア・クイーンズランド州の高校生を広島に招き、日本文化等を学ぶ研修プログラム
	インドネシア アル・アズハル第9高校 日本語・日本文化体験研修	20人 (4人)	1/21～1/26 (5泊6日)	インドネシアの高校生を対象とした日本語・日本文化研修
海外自治体・大学等 国際化研修	令和6年度香港專業進修学校広島 スタディツアー	9人 (1人)	6/12～6/18 (6泊7日)	香港專業進修学校の学生を対象とした日本語・日本文化体験研修

海外自治体・大学等 国際化研修	R6「日本の教育システムと文化体験 研修（フィリピン）10月」	12人	10/7～10/12 (5泊6日)	ファハルド教授の企画による、フ ィリピン人教育関係者を対象とし た研修を受託。学校訪問、日本文化 体験、文化施設の見学を通じて、日 本の教育制度や日本文化及び広島 についての理解を深める。
企業等国際化研修	ユニタール広島事務所 エジプト、イラク、及びレバノン研 修員日本文化体験プログラム	16人 (7人)	2/5～2/12 (7泊8日)	ユニタール（国連訓練調査研究所） 広島事務所が受け入れたエジプ ト、イラク及びレバノンからの研 修員に対する日本文化体験研修
	R6「四川省環境保護合作事業」（中 国）	3人	3/5～3/19 (14泊15日)	広島県環境政策課と四川省環境保 護庁が協定を結び、平成4年（1992 年）から継続している環境分野の 技術交流事業の国内研修
G R P	グローバル能力開発コース (長期)	22人 〔新規5人+ 継続17人〕 (定員19人)	通年	(全体の内訳) 中国3、ベトナム、インド、ベネズ エラ、ジャマイカ、パキスタン、シ リア、イラン、インドネシア各1。 男性7、女性4（2025.3.31現在）
	レジデント・アシスタント（RA）	3人 〔新規1人+ 継続2人〕 (定員2人)	通年	日本人学生男女各1名
	合 計	166人 (29人)		

20 グローバル人材育成事業（新規）

ひろしま国際プラザの研修室・宿泊施設を活用し、英語や国際交流、多文化共生社会に興味を持ってもらい、自らが考え、価値観の異なる人同士で協働し、課題を解決していく力を身につけ、地域や母国、あるいは世界で活躍できるグローバル人材を養成する。

県内の生徒に向けて、実践的な英語力の習得を目指す宿泊型English Campを実施

研 修 名 等		人数	実施期間	内 容
Hiroshima Global Gateway (HGG) English Camp 2024		17人	11/2～11/3	中・高校生を対象とした実践的な英語力の習得を目指す、ネイティブ講師による1泊2日の宿泊型の研修
Hiroshima Global Gateway (HGG) English Camp 2025	フライト1	29人	3/25～3/26	中・高校生を対象とした実践的な英語力の習得を目指す、ネイティブ講師による1泊2日の宿泊型の研修 フライト1は、11月に実施したプログラム内容と同じく入門者向けの研修であり、フライト2は、平和記念公園周辺でのインタビューミッションを含む、より実践的な研修内容となっている。
	フライト2	29人	3/27～3/28	
計 3 コース		75人		

第1回のプログラム内容 (2024年11月実施分)

参加する前の私らにみなのもえでコメントするのは自分からはできなかったと思うけど、
 Finnのおかげで挑戦できたので、本当に心から感謝しているし尊敬しているし、様々な文化に
 触れてとても良かったし、言葉にできないくらいいい思い出だった。
 どの先生も、友達も私にとって刺激になった。
 Finn、英語を教えてくださいありがとうございます。"Don't be afraid of making mistakes" この言葉が私を
 強くした。また参加したい。

最初は緊張していたけど自分から話しかけたり、分からないこと、聞きたいことがあったらすぐに聞くようにしたら、だんだん楽しくなってきて、皆でいろんなことをしたり完成させたりするのが楽しかった。

これから英語をどう使う仕事に就くか、もっと能力をのばしていくか考えるときに今回の経験を活かしたい。

Christine、2日間ありがとう！あなたの生徒になれて良かった。I love u ♡

第1回の参加者コメント

第2回のプログラム内容 (2025年3月フライト1)

第2回のプログラム内容
(2025年3月フライト2)

2 1 国際協力機構(JICA)受託研修事業

1 目的

独立行政法人国際協力機構(JICA)中国センターが受け入れた、開発途上国の国づくりの中心となる技術者・行政官等への研修をHICが受託実施し、様々な分野の専門知識・技術等の移転を支援する。

2 事業概要

JICAから集団型研修コース等を受託し、広島県や県内の市町村、企業、大学等と協力して実施する。

3 令和6年度実績

(1) 課題別研修

研修名	人数	実施期間※	研修概要
①排水処理技術	10人	9/5～10/24	【内容等】 - 日本で実際に機能している排水処理システムの実例及びその整備プロセスを体系的に学ぶと共に、参加国間で課題や経験を共有、議論する中で、参加者が各国の排水処理状況を改善するための糸口をつかむことを目的とする。 「水環境保全」「下水道計画・経営」「処理場の維持管理」「下水処理技術」等といったテーマについて、講義・視察・実習を通して自国に合った必要な知識・技術を学ぶ。 - 途上国に向けた技術の一つとして、UASB+DHSを紹介し、自力で実行可能な改善取り組みへの意欲を向上させる。 - 来日実施 【協力機関】東広島市、広島大学、長岡科学技術大学、(株)DHSテクノロジー、東京都下水道局、日本下水道事業団、県内の排水処理施設、汚水・汚泥処理関連企業等 【参加国】コスタリカ、ブラジル、メキシコ、ペルー、ニカラグア、パナマ、アルゼンチン、ボリビア、エクアドル、ウルグアイ
②サヘル諸国・周辺国における地方行政能力強化による政府と住民間の信頼醸成	9人	11/26～12/6	【内容等】 - 紛争の影響を大きく受けているサヘル諸国及び周辺国の幹部地方行政官の、地域社会の再建に向けた行政と住民の協働による街づくり、行政と住民の信頼醸成に寄与する、リーダーとしての教訓を習得することを目的とする。 - 日本の戦後復興及び災害復興の経験を基に、紛争影響国での地域社会再建の取り組みにおける地方行政の役割・責任を理解する。 - 来日実施 【協力機関】総務省、広島県、東広島市、(同)ひとむすび、世羅町、特産品センターかめりあ、宮城県議、元復興庁事務次官 等 【参加国】ブルキナファソ、チャド、コートジボワール、マリ、モーリタニア、ブルンジ
③地方行政能力強化（紛争影響国における地域社会再建）	12人 (内、1人 来日中止)	1/19～2/6	【内容等】 - 紛争影響国において地域再建プロセスを担う地方行政官及び中央政府の行政官の政策・計画の立案・実施能力の向上を目的とする。紛争影響国における地域社会の再建を通じた平和構築の取り組みと、その中での地方行政・コミュニティの果たすべき役割を理解する。 - 来日実施 【協力機関】広島県、安芸高田市、福島県、東北大学、宮城県議、いわき市、東松島市、早稲田大学、医療創生大学、(一社)ふくしまオーガニックコットンプロジェクト、(株)起点、広野町等 【参加国】パキスタン、エチオピア、ナイジェリア、南スーダン、リビア、パレスチナ、ソマリア、スーダン、ウガンダ(ウクライナ)
④道路維持管理 (D)	5人 (内、1人 来日中止)	1/7～2/20	【内容等】 参加国の経済発展に伴い急増する自動車交通需要に対応する道路整備について、日本の技術・知識・経験を活かし、効率的な維持管理計画の策定スキルを向上させることを目的とする。

		・PDCAサイクルを使って、予防的かつ効率的な道路整備や維持管理の方法を学ぶ。 ・来日実施 【協力機関】 広島大学、東広島市、国土交通省中国地方整備局、関西学院大学、福岡大学、大阪大学、拓殖大学、(株)こっこー、株式会社特殊高所技術、高速道路関係企業等 【参加国】 ウガンダ、エジプト、ザンビア、モザンビーク(ベリーズ)
計 4 コース	34人	

※実施期間は技術研修期間である。

(2) 国別研修

研修名	人数	実施期間※	研修概要
①ソマリア 「地域社会再建にかかる地方行政能力強化」	8人	5/12～5/25	【内容等】 ・地域再建プロセスを担う市長、地方政府及び中央政府の行政官の政策・計画の立案・実施能力の向上を目的とする。 ・日本の行政制度の変遷や現状、課題について学び、地方行政の在り方を理解する。また、日本の戦後復興及び災害復興の経験をもとに地方行政の目指す姿を共有し、ソマリアにおける復興及び課題解決のための教訓を習得する。 ・来日研修により実施 【協力機関】 広島県、東広島市、東北大学、東松島市、宮城県議、自治会、横浜国立大学等
②フィリピン 「バンサモロ自治政府能力向上プロジェクト」	8人	5/29～6/7	【内容等】 ・日本国は、2014 年の比国政府と MILF の包括和平合意以前から、和平プロセスの進展及びミンダナオ島バンサモロ地域の復興・開発を積極的に支援している。対フィリピン共和国国別開発協力方針(2018 年 4 月)では、「ミンダナオにおける平和と開発」を重点分野と定め、紛争影響地域において日本・バンサモロ復興開発イニシアティブ (Japan-Bangsamoro Initiatives for Reconstruction and Development。以下、「J-BIRD」という。)として行ってきた取組を強化し、ガバナンス、公共サービス改善及びコミュニティ開発、経済開発への協力を実施するとしており、この約 10 日間の研修では、主に広島県内の自治体や広島大学教授が研修訪問先・講師となり、人事マネジメントや人材育成、行政評価手法等を学び、バンサモロ自治政府の行政官と域内の地方自治体職員を対象とした研修機関(公務員研修所)の活動と設立に資する広島県の事例を学ぶ。 ・来日研修により実施 【協力機関】 広島県、東広島市、大崎上島町、広島大学、広島叙智学園、広島ユネスコ協会、総務省中国四国管区行政評価局等
③ナイジェリア 「北東部州復興計画策定能力強化」	10人	7/1～7/12	【内容等】 ・連邦政府、州政府及び市の行政官が、日本の戦後復興の経験や住民と行政が協働する取り組みを理解し、北東部地域の効果的な復興計画を策定・実施するために必要な能力を強化することを目的とする。 ・日本の戦後復興や災害復興の経験を学び、コミュニティとの関係に重点を置いて地域社会再建を行う日本の地方行政の働きを理解し、自国の地方行政能力強化の参考となる教訓を得る。 ・来日研修により実施 【協力機関】 広島県、大崎上島町、宮城県議、いわき市、浪江町、マツダ(株)、ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社、東北大学、医療創生大学、横浜国立大学、岩崎農園等

④イラク 「廃棄物管理」	12人	10/16～11/13	【内容等】 ・ごみ処理に係る計画立案、収集運搬及び適正な最終処分（有害廃棄物含む）について、エルビル市の廃棄物処理計画における策定能力を強化することを目的とする。 ・日本の廃棄物行政システム並びに視察を通して自国との比較、改善のヒントを得る。 ・来日研修により実施 【協力機関】 広島県、広島市、東広島市、広島中央衛生組合、広島工業大学、摂南大学、京都大学、岡山大学、立命館大学、廃棄物処理関連企業等
計 4 コース	38人		

※実施期間は技術研修期間である。



「バンサモロ自治政府能力向上プロジェクト」
(大崎上島町での講義・視察)



「サヘル信頼醸成」
(世羅町特産品センターかめりあの視察、平和記念公園)



「排水処理技術」
(東広島浄化センター視察、高知県須崎市終末処理場視察、日本下水道事業団での実習)

(3) 青年研修

研修名	人数	実施期間※	研修概要
①中南米 「農業・農村開発Bコース」	9人	2/4～2/20	【内容等】 ・各国の青年リーダー層を対象に、日本における農業分野の経験、技術を理解する基礎的な研修を実施することにより、対象国の国づくりを担う若手人材の知識、意識を向上させることを目的とする。 ・日本における農業政策・技術に関する知識を習得し、農業分野における課題解決に向けた意識の向上を目標とした研修。 ・来日研修により実施 【協力機関】広島県、世羅町、大崎上島町、せらにしふれあいの会、ボッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社、株式会社サタケ、広島県立西条農業高等学校等 【参加国】ウルグアイ、グアテマラ、コロンビア、ホンジュラス、チリ、ドミニカ共和国
計 1 コース	9人		

※実施期間は技術研修期間である。

(4) 日系研修

研修名	人数	実施期間※	研修概要
①「伝統的産品を活用した地域ブランドの創出と地域の活性化」	1人	5/17～11/14	【内容等】 ・デザイン・工芸に関心の高い研修員が、日本の伝統工芸の技術や精神を理解することを目的とする。 ・帰国後に制作・日本文化普及等により、日系社会の文化的な土台を支え、母国社会の発展に貢献する。 ・上記研修目標を達成するため、工房尾道帆布の通常業務への従事を通して必要な知識、技術及び精神・文化を習得する。また、研修員の母国での状況をヒアリングしたり、助言や意見交換したりするため、振り返りなどの時間を設ける。 ・来日研修により実施 【研修実施機関】NPO法人 工房尾道帆布 【参加国】ブラジル
②「日本の食文化（お好み焼き）の継承による日系社会の活性化」	1人	5/17～6/7	【内容等】 ・日本で継承されているお好み焼きの作り方を学び、一定の品質で焼けるよう習熟し、自国の日系社会で指導することができるようになることと、お好み焼きを複数人で効率的に大量に作るオペレーション手法を学び、日系イベントやお祭り等で実践できるようになることを目的とする。 ・お好み焼きは質量共に日本の食文化として発信力が高いと考えられ、それが各国で評価されることにより、日系人であることに誇りを持ち、日系社会の共同意識と連帯を高め、活性化に貢献する。 ・来日研修により実施 【研修実施機関】一般財団法人お好み焼アカデミー 【参加国】ブラジル
計 2 コース	2人		

※実施期間は技術研修期間である。

(参考) 過去のJICA研修受託実施状況

(単位：コース、人)

区分/年度	H9～R1	R2	R3	R4	R5	R6	累計
コース数	269	4	6	11	8	11	309
研修員数	2,343	36	45	97	67	83	2,671

2 2 地域の国際化推進事業（地域交流イベント）

1 目的

県民が直接外国人と交流する機会を提供し、地域の国際化を推進する。

2 事業概要

多くの地域住民（在住外国人を含む。）が国際相互理解を深める機会として、「ひろしま国際プラザ（HIP）」に在館する研修員の協力も得ながら、様々な地域交流イベントを実施する。

また、国際交流・協力事業の地域ボランティアを養成するため、イベントでの通訳やホストファミリーなどの「HIC オレンジサポーター」登録制度を設け、積極的な参画を促進する。

3 令和6年度の実績

1 地域における国際交流推進事業

【事業目的】

日本人住民に対する意識啓発、外国人住民に対する日本での生活上必要な種々の情報提供及び地域に暮らす外国人・日本人住民の交流機会の提供を行うことにより、地域における国際交流及び外国人住民が心豊かに暮らせるまちづくりの推進を支援する。

1 子ども英語村（Kids' English Academia）

(1) 概要 東広島市内に住む ALT（Assistant Language Teacher：外国語指導助手）やひろしま国際プラザで研修を受講中の外国人研修生等の協力により、外国人と日本人が英語を媒体として交流する。遊びながら英語を学び、また異文化理解と多文化共生社会の推進を支援することを目的とする。

(2) 対象者 東広島市在住の語学、異文化理解に関心のある青少年等

(3) 実施回数・参加者数 1回 56名

(4) 実施状況

日時	令和6年12月14日（土）9：45～12：50
場所	ひろしま国際プラザ ロビー（1階、2階）
参加者	参加者 56名 ボランティア 21名（ALT17名、外国人ボランティア1名、日本人ボランティア3名）
内容	小学校に見立てたひろしま国際プラザ（HIP）で、参加者が4グループに分かれ、教師役のALT等から4科目の授業を受けて外国（英語圏）の小学校を疑似体験。 ・Arts&Crafts（図工）：折り紙でクリスマスツリー作り ・Drama（ドラマ）：”Where's Prancer?”の朗読 ・Science（理科）：光の実験 ・P.E.（体育）：モルック





2 「やさしい日本語」の普及

- (1) 概要 日本語が苦手な外国人住民にとっても理解が容易な「やさしい日本語」の普及を図るため、出前講座等を活用しながら、考え方や実践的なノウハウを習得するためのセミナー等を開催することで、業務及び日常生活等における外国人対応の一助とし、受入側の体制整備を支援する。

▽ 「やさしい日本語」の概略、ロールプレイによる実践練習

- (2) 対象者 東広島市に在住・勤務し、外国人への情報発信やコミュニケーションを行う自治体・企業職員（教育・福祉・保健分野など）、住民自治コミュニティ、地域メディア担当者、学生等

- (3) 実施回数・参加者数 4回 86名

- (4) 実施状況

(1回目)

日時	令和6年6月28日（金） 13:00～14:15
場所	東広島市市民協働センター
対象	行政相談員
参加者	15名
内容	「やさしい日本語」講座

(2回目)

日時	令和6年11月30日（土） 9:00～10:30
場所	ひろしま国際プラザ
対象	広島国際大学生、 「ひと・まち発見講座プログラム」参加者（東広島市教育委員会 生涯学習課主催）
参加者	21名
内容	「やさしい日本語」講座

(3回目)

日時	令和6年12月2日（月） 15:00～17:00
場所	東広島市役所
対象	保育所等職員
参加者	16名
内容	「やさしい日本語」講座

(4回目)

日時	令和7年1月22日（水） 13:30～15:00
場所	御菌宇地域センター
対象	地域住民、県立賀茂高等学校生徒、外国籍住民
参加者	34名
内容	「やさしい日本語」講座、外国籍住民との交流会



6月28日 行政相談員を対象に開催



11月30日 広島国際大学生等を対象に開催



12月2日 保育所等職員を対象に開催



1月22日 御薗宇地域センターで開催

3 外国人のための東広島バスツアー

- (1) 概要 地域に対する理解を促進し、生活上必要となる情報を提供するために、在住外国人のためのバスツアーを開催し、外国人住民の生活の利便性・快適性向上を図るとともに、地域に対する愛着を増す機会とする。また、参加者同士のコミュニケーションを促し、住民同士のネットワーク形成の一助とする。
- ▽ 市内の主要観光スポットや生活に役立つ公的機関への訪問
 - ▽ バス内でのレクリエーション等を通じた参加者間の交流

- (2) 対象者 東広島市に在住する外国人等（技能実習生を含む。）

- (3) 実施回数・参加者数 2回 38名

- (4) 実施状況

(1回目)

日時	令和6年5月18日（土） 9:15～16:30
参加者	32名
内容	・河内町の河内パークゴルフでパークゴルフを体験 ・福富町の福富ダムを見学

(2回目)

日時	令和6年11月17日（日） 9:50～15:20
参加者	6名（外国人技能実習生）
内容	・東広島国際フェスタ2024を見学 ・豊栄町の小石川リンゴ園でリンゴ狩り体験 ・三景園へ移動するバスの中で 東広島に関するクイズを実施 ・三原市本郷町の三景園を見学
備考	参加予定者は38名。キャンセルの事情について、監理団体の協同組合に確認したところ、本人や身内の体調不良、バスへの乗り遅れなどだった。



5月18日 福富ダムの見学



11月17日 三景園見学

4 外国人のための防災フェスタ

- (1) 概要 外国人住民等を対象に、地震、風水害、火災などの防災をテーマにした体験型イベントを開催又は東広島市総合防災訓練等に参加し、外国人住民の防災意識を高めるとともに、地域の安心・安全の向上を図る。
- (2) 対象者 東広島市に在住する外国人市民等
- (3) 実施状況

日時	令和6年7月13日(土) 9:20~16:00
場所	東広島消防署 広島市豪雨災害伝承館
参加者	外国人27名
内容	・東広島消防署内の見学、119番通報の受け答えの模擬体験 ・広島市豪雨災害伝承館見学、炊き出し体験



東広島消防署を見学



炊き出し体験

5 地域交流希望事業

- (1) 概要 ひろしま国際プラザに滞在する研修員との交流を希望する人を広く一般より募集し、地域住民が主体となった国際交流活動（ロビーイベント、ロビーでの日本伝統文化の作品展示、スポーツを通じた交流イベント等）を促進する。
- (2) 対象者 東広島市在住の国際交流を希望する地域住民、ひろしま国際プラザに滞在する研修員等
- (3) 場所 ひろしま国際プラザ
- (4) 実施回数・参加者
- | | | |
|---------|-----|------|
| 伝統芸能発表会 | 2回 | 104名 |
| スポーツ交流 | 27回 | 405名 |



11月6日ロビーイベント（邦楽）



1月23日ロビーイベント（柔道）

6 ホームステイ・ビジット講習会（ホストファミリー講習&交流会）

- (1) 概要 身近にできる国際協力・交流の手段として有益なホームステイやホームビジットについての講習会を開催し、日本人住民のホームステイ等への関心を喚起し、またホストファミリー相互の連携及び情報共有を強化する。
- (2) 対象者 主に東広島市在住のホームステイ等の受入れに興味をもつ日本人
- (3) 実施状況

日 時	令和6年6月22日（土） 10:00～12:00
場 所	ひろしま国際プラザ
人 数	29名（日本人23名、外国人協力者4名、ボランティア2名）
内 容	・ホームステイ・ビジットの目的や内容について説明 ・ワークショップ（ホームビジットのシミュレーションや、日本の行事を通じた外国人との交流）



7 外国人のための子育て交流会

- (1) 概要 未就学児を持つ外国人が、地域の日本人との交流を通じて、日本で暮らしていく上で必要となる日本の文化や生活について理解を深める機会を設ける。また、子育て支援拠点が実施する外国人の子育て支援に係る活動を支援する。
- (2) 対象者 主に東広島市在住の未就学児を持つ外国人・日本人及びその子ども
- (3) 実施回数・参加者

- ・子育て交流会 1回 39名
- ・子育て支援拠点支援 12回 158名（外国人64名、日本人94名）

(4) 実施状況

(子育て交流会)

日 時	令和7年3月16日（日） 10:30～12:00
場 所	ひろしま国際プラザ
人 数	39名（外国人20名、日本人19名）
内 容	・自己紹介 ・英語リトミック ・フリートーク（交流タイム）

(子育て支援拠点支援)

日 時	①令和6年4月10日（水） 10:00～12:00 参加者4名（外国人2名、日本人2名）
	②令和6年5月8日（水） 10:00～12:00 参加者15名（外国人3名、日本人12名）
	③令和6年6月12日（水） 10:00～12:00 参加者22名（外国人7名、日本人15名）
	④令和6年7月10日（水） 10:00～12:00 参加者12名（外国人4名、日本人8名）
	⑤令和6年8月21日（水） 10:00～12:00 参加者12名（外国人6名、日本人6名）
	⑥令和6年9月11日（水） 10:00～12:00 参加者14名（外国人7名、日本人7名）

	⑦令和6年10月9日(水) 10:00~12:00 参加者43名(外国人11名、日本人32名) ⑧令和6年11月13日(水) 10:00~12:00 参加者8名(外国人8名、日本人0名) ⑨令和6年12月11日(水) 10:00~12:00 参加者2名(外国人2名、日本人0名) ⑩令和7年1月15日(水) 10:00~12:00 参加者なし ⑪令和7年2月12日(水) 10:00~12:00 参加者4名(外国人4名、日本人0名) ⑫令和7年3月12日(水) 10:00~12:00 参加者22名(外国人10名、日本人12名)
場 所	キッズプラザひがしひろしま「ゆめもくば」
内 容	・毎月第2水曜日の10時から12時までを「おしゃべりワールドデー」とし、外国人親子と日本人親子が交流



3月16日 子育て交流会(英語リトミック)



おしゃべりワールドデー

8 地域国際交流事業

(1) 概 要 地域に暮らす外国人・日本人住民との交流の場を作り、ともに活動することで、相互理解を促進し、外国人住民の地域への溶け込みや地域内での異文化理解、コミュニティ形成を促進するため、生涯学習センター等と協同して交流事業を実施する。

(2) 対 象 者 東広島市内の地域に在住する外国人・日本人住民

(3) 実施状況

日 時	令和6年9月29日(日) 10:00~11:30
場 所	平岩地域センター
対 象	平岩地域に在住する外国人・日本人住民
参加者	37名(外国人8名、日本人24名、外国人協力者3名、日本人協力者2名)
内 容	スリランカの紹介、民族共生の取組紹介、お菓子の試食



スリランカの紹介

9 防災アドバイザー事業

(1) 概 要 地域に暮らす外国人住民への災害時支援や外国人住民の防災意識を高めるための事業等に対しアドバイザーを派遣し、業務及び日常生活等における外国人対応の一助とし、受入側の体制整備を支援する。

(2) 対 象 者 地域自治組織等

(3) 実施回数・参加者数 2回 35名

(4) 実施状況

(1回目)

日 時	令和7年2月10日(月) 9:30~10:30
場 所	東広島警察署
対 象	東広島警察署 警察官
参加者	27名
内 容	やさしい日本語の生まれたきっかけ、ポイント、効果、メリットなどについて講演

(2回目)

日 時	令和7年2月13日(木) 9:30~11:30
場 所	東広島市役所
対 象	東広島法律研究会会員
参加者	8名
内 容	「やさしい日本語」のポイントについて、演習を交えながら講義



2月10日 やさしい日本語講座



2月13日 やさしい日本語講座

10 友好都市マリリア市 PR 事業

(1) 概 要 東広島市の国際友好都市の一つであるブラジルサンパウロ州マリリア市との友好交流のPR事業を実施する。

(2) 対 象 者 東広島市に在住する市民(ブラジル出身者を含む。)等

(3) 実施回数・参加者数 1回 95名

(4) 実施状況

日 時	令和6年11月17日(日) 10:00~16:00 東広島国際フェスタにブースを出展
場 所	東広島国際フェスタメイン会場(西条中央公園)
人 数	クイズ参加者・パネル等見学者 95名
内 容	写真・パネル展示、ブラジルやマリリア市に係るクイズ



2 国際相互理解促進事業

【目的】

日本文化・外国文化の相互理解を促進することで、グローバルな視野を持ち、文化の多様性を受容できる国際人材の養成に寄与する。

1 ワールドクッキング教室

- (1) 概要 海外の料理をテーマとした料理講習会を開催する。講師は地域に暮らす外国人住民に依頼し、外国人住民の社会参画への機会とする。
▽ 講師の母国の料理紹介および調理を通じた交流
▽ 講師の母国文化、社会事情の紹介
- (2) 実施回数 10回
- (3) 実施状況 テーマ国：ウクライナ、ブラジル、ジャマイカ、タイ、インド
- (4) 受講者数 173名



ウクライナ料理



ジャマイカ料理

2 広島平和学習

- (1) 概要 平和記念公園、平和記念資料館、原爆ドームなどへの訪問や講義を通じて、広島の復興の歴史や平和の尊さについて学ぶための研修を実施する。
- (2) 対象者 ひろしま国際プラザに滞在する研修員等
- (3) 実施回数 17回
- (4) 参加者数 166名
- (5) 行程 平和記念資料館見学
「平和都市ヒロシマの歩み」(講義)
平和記念公園見学(原爆ドーム、慰霊碑、原爆の子の像、爆心地など)



講義「平和都市ヒロシマの歩み」



慰霊碑

3 宮島ツアー

- (1) 概 要 広島を代表する文化遺産である宮島への訪問を通じ、日本の歴史・文化に対する理解を促進し、親日感情の醸成に寄与する。
- (2) 対 象 者 ひろしま国際プラザに滞在する研修員等
- (3) 実施回数 2回
- (4) 参加者数 75名



4 G7サミットの地「広島」を巡るツアー

- (1) 概 要 2023年5月にG7サミットが開催された地「広島」を巡り、広島平和記念資料館や平和記念公園の見学、ヒロシマの復興についての講義・意見交換を行うほか、もう一つの世界遺産である厳島神社を始めとする宮島を訪問し、平和や広島についての理解を深める機会とする。
- (2) 対 象 者 全国のJICA長期研修員
- (3) 実施回数 1回
- (4) 参加者数 31名



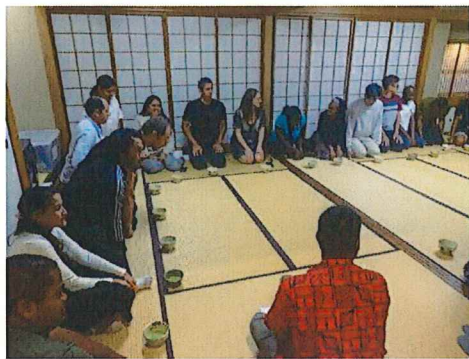
ヒロシマの復興について講義



宮島訪問

5 日本文化体験教室

- (1) 概 要 伝統的な日本文化である茶道・華道・着付け・書道等を体験する教室を開催することで、日本文化に対する興味・関心を喚起し、親日感情の醸成に寄与する。
- (2) 対 象 者 ひろしま国際プラザに滞在する研修員
- (3) 場 所 ひろしま国際プラザ 研修室・和室等
- (4) 実施回数 26回（着付け10回、華道2回、茶道3回、書道3回、お好み焼き体験1回、折り鶴アート3回、お弁当作り体験2回、手巻き寿司作り体験1回、殺陣1回）
- (5) 参加者数 392名



茶道の体験



殺陣の体験

6 ホームステイ・ビジット

- (1) 概要 日本人住民と生活を共にする体験を通じ、研修員の日本の生活・習慣・文化に対する興味・関心を高めるとともに、受入家庭の国際交流・異文化理解への意欲を高める。
- (2) 対象者 ひろしま国際プラザに滞在する研修員
- (3) 実施回数 ホームビジット1回
- (4) 参加者数 研修員9名

7 東広島地域のまつり等への参加

- (1) 概要 研修員が地域コミュニティ等の主催するまつり等に参加し、地域住民と交流を深める。
▽ 西条酒まつり、御菌宇小学校運動会・もちつき大会への参加
- (2) 対象者 ひろしま国際プラザに滞在する研修員等
- (3) 場所 酒まつり会場、御菌宇小学校
- (4) 実施回数 3回
- (5) 参加者数 研修員41名



西条酒まつりの酒みだればやし



御菌宇小学校もちつき大会

8 出前講座

- (1) 概要 市民からの申込に応じて外国人を派遣し、出身国の遊びの紹介や体験を通じた交流を行う。
- (2) 対象者 東広島市民
- (3) 場所 申込者が提供する場所
- (4) 実施回数 7回(「遊び」をとおして世界が見える)
- (5) 参加者数 172名

3 地域日本語教育支援事業

【目的】

広島県内各市町の日本語教育を支援する「人材育成・教材・リソース等の開発及び実践研究拠点」として、総括コーディネーターを配置しつつ、地域日本語教育コーディネーター（※）の育成、指導等を実施し、外国人が孤立することなく、県民の一員として地域に溶け込み、安心して生活できる環境を整備する。

※ 地域における日本語教育の推進を担う役割

1 日本語学習支援者養成

- (1) 概 要 日本語能力が十分でない外国人住民が生活等に必要な日本語力を身に付け社会の一員として地域へ参加できるよう、地域コミュニティ拠点としての地域日本語教室を形成することを目的とする。
- (2) 対 象 者 日本語ボランティア、自治体職員等
- (3) 実施状況

広島県が実施する市町委託事業実績（令和6年度）（講師：犬飼日本語常勤講師他）

内容	回	実施日	定員等	時間	市町名
多文化共生地域理解講座	第1回	10月6日	各30名	各2時間	福山市
	第2回	11月2日			
	第3回	12月7日			
「やさしい日本語」講座	—	6月27日	—	1時間30分	安芸高田市
		11月8日	—		
地域日本語教室立ち上げ相談会	—	9月8日	—	2時間	府中市
日本語教室ボランティア養成講座	第1回	9月7日	—	各2時間	呉市
	第2回	9月14日			
	第3回	9月21日			
	第4回	9月28日			
「やさしい日本語」研修会	—	10月21日	—	1時間30分	安芸太田町
「やさしい日本語」研修会	—	11月15日	—	2時間	廿日市市
日本語ボランティア養成講座	第1回	12月6日	—	各2時間	三原市
	第2回	12月13日			
	第3回	12月20日			
日本語ボランティア養成講座	第1回	12月9日	—	各2時間	尾道市
	第2回	1月20日			
	第3回	1月27日			
日本語ボランティア相談会	—	12月27日	—	2時間	廿日市市
日本語ボランティア相談会	—	1月25日	—	2時間	安芸高田市

市町等からの要請に基づき研修講師を派遣した実績(令和6年度)(講師:犬飼日本語常勤講師他)

内容	回	実施日	定員等	時間	依頼団体
「やさしい日本語」研修	—	4月16日	—	1時間50分	広島市
		5月28日	—	2時間	
		6月25日	—	2時間	
		11月29日 12月2日	—	2時間	
		3月3日	—	1時間30分	
		8月25日 1月24日	25名	2時間	広島平和文化センター
国際化(多文化共生)のまちづくりワークショップ	第1回	8月2日	—	2時間	東広島市
	第2回	8月21日	—	2時間	
	第3回	9月5日	—	2時間	
「やさしい日本語」研修	—	2月10日	—	1時間	東広島市
	—	2月26日	—	2時間	
「やさしい日本語」研修	—	6月19日	30名	3時間	広島県(自治総合研修センター)
	—	8月22日	—	2時間	広島県(教育委員会)
「やさしい日本語」研修	—	12月20日	30名	2時間	海田町社会福祉協議会

4 相互理解・交流促進事業＜JICA受託事業＞

【目的】

地域に滞在する JICA 研修員と地域住民との交流の場を作ることにより相互理解を促進し、地域住民の開発途上国・地域及び JICA 事業に対する関心と理解を高めるとともに、JICA 研修員及びその家族の日本理解を深める。

1 地域市民対象イベント「JICA と考えるチョコレートの世界」

- (1) 概 要 JICA 事業について理解と関心を深めてもらうとともに、JICA 事業の対象である開発途上国についても知ってもらう機会とするため、研修員等の協力を得て、世界や多文化に触れる体験型イベントを開催する。
- (2) 対 象 者 主に小学生高学年の市民
- (3) 場 所 ひろしま国際プラザ
- (4) 実施状況

日 時	令和 7 年 2 月 15 日（土） 10：00～15：10
参加者	参加者 251 名、研修員等 11 名、チョコレート作り指導講師 1 名、ボランティア 15 名
内 容	チョコレートをテーマにして、チョコレートと SDGs の関係、カカオ生産国のことや JICA の支援の取組、チョコレートの歴史などを知ったり、JICA 研修員と交流したりするイベントを開催した。 ・カカオ豆からチョコ作りに挑戦！ ・チョコレートと SDGs ・カカオの国のクイズに挑戦！ ・チョコレートの歴史 ・JICA 研修員と話そう



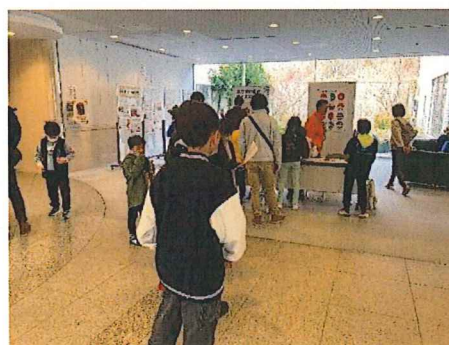
チョコレート作り



チョコレートと SDGs



JICA 研修員と話そう



クイズとバッジ作り

2 サイエンスパーク施設公開

- (1) 概 要 サイエンスパーク施設公開時に、開発途上国・地域や国際協力に対する関心と理解を促すアクティビティやワークショップ、研修員の出身国の紹介などを実施する。また、ひろしま国際プラザの魅力を知ってもらう機会とする。
- (2) 対 象 者 主に親子連れの市民
- (3) 場 所 ひろしま国際プラザ
- (4) 実施状況

日 時	令和6年8月7日（水） 10：00～16：00
参加者	参加者 396名、研修員 15名、ボランティア 12名
内 容	・世界のクイズ ・キルギスで行われている羊毛を使ったマスコット作りのワークショップ ・ワールドファッションショー ・外国人によるウェルカムドリンクの提供



世界のクイズ



羊毛マスコット作り



ワールドファッションショー



ウェルカムドリンク



キルギスの紹介



コムズの演奏

3 研修員と市民との交流（ピーストーク）

- (1) 概 要 内戦・紛争の経験国から来た研修員が講師となり、国の概要、過去の出来事と現在の様子、平和や広島に対する思い等を紹介し、参加者と平和について話し合うなどにより、開発途上国・地域における平和や復興支援に関する理解・関心を高める。
- (2) 対 象 者 一般市民
- (3) 実施回数 2回
- (4) 参加者数 50名
- (5) 実施状況

(第1回)

日 時	令和6年9月28日（土） 10:00～11:40
場 所	東広島芸術文化ホールくらら（東広島市西条栄町）
対象国	シリア

(第2回)

日 時	令和6年11月30日（土） 10:00～11:40
場 所	広島コンベンションホール（広島市東区二葉の里）
対象国	パキスタン



ワークショップの様子（第1回）



パキスタンのことについて説明する研修員（第2回）

4 学校訪問

- (1) 概 要 研修員が日本の学校現場を訪問することにより、日本の教育の現状や教員、児童・生徒の日常生活などを知り、日本社会について理解を深める。また、児童・生徒が研修員と交流することにより、開発途上国や異文化理解に関する興味・関心を高める機会とする。
- (2) 対 象 者 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等
- (3) 実施回数 7回7校
- (4) 参加者数 研修員48名、児童・生徒・教員等1,017名
- (5) 実施状況

第1回	令和6年7月12日（金）	広島市立大塚中学校
第2回	令和6年9月20日（金）	萩光塩学院中学校・高等学校（山口県）
第3回	令和6年10月29日（火）	広島大学付属三原小学校
第4回	令和6年11月11日（月）	広島県立安古市高等学校
第5回	令和6年11月13日（水）	尾道高等学校
第6回	令和7年1月14日（火）	呉市立呉高等学校
第7回	令和7年1月17日（金）	広島県立尾道商業高等学校



児童と交流（広島大学付属三原小学校）



歓迎式（萩光塩学院中学校・高等学校）

5 大学等訪問

- (1) 概要 研修員が日本の大学生・短大生・高専生・専門学校生と交流し、研修員が日本で学んでいる分野についての意見交換や、出身国の社会・文化などの紹介を通じた交流を行い、相互の理解を深める。
- (2) 対象者 中国地方の大学・短期大学・高等専門学校・専門学校等
- (3) 実施回数 5回5大学
- (4) 参加者数 研修員26名、学生・教員等138名
- (5) 実施状況

第1回	令和6年7月10日(水)	広島大学 東千田キャンパス
第2回	令和6年10月11日(金)	広島修道大学
第3回	令和6年10月17日(木)	国立宇部高等専門学校（山口県）
第4回	令和6年11月11日(月)	環太平洋大学（岡山県）
第5回	令和6年11月27日(水)	広島文教大学



パネルディスカッション（広島修道大学）



フリートーク（国立宇部高専）

2 3 国際協力情報の収集・提供事業

(ひろしま国際プラザ情報センター・図書室等運営事業)

1 目的

海外からの研修員や県民等に国際協力等の情報を提供するとともに、各種の相談に応じる。

2 事業概要（平成9年度(1997年度)開始）

(1) 情報センター・図書室の運営（平成9年(1997年)4月1日開室）

業務：日本語学習教材や国際協力に関する図書等の配備（蔵書数 14,404 点）
ひろしま国際プラザ滞在の研修員や外国人、県民を対象とした相談

(2) ホームページによるひろしま国際プラザ情報等の提供

(3) 平成21年(2009年)4月から図書室内に日本文化理解のための展示を実施

(4) 平成22年(2010年)5月から研修員と一般向けにミニ折り紙レッスン開始

(5) 平成24年(2012年)4月からツイッター、5月からフェイスブック開始

11月から、図書等の一般への貸出開始

(6) 平成25年(2013年)Wi-Fi環境の整備、開始

(7) 平成27年(2015年)4月に絵本専用の部屋「絵本の森」をオープン

(8) 平成27年(2015年)7月に「絵本で楽しむ外国語」イベントを開始

3 令和6年度実績

情報センター・図書室の運営（開館日数：304日）

休室日：毎週日曜日、12月29日～1月3日（蔵書整理等のため、別途年3日間休室）

開館時間：平日 10:30～12:30・13:30～19:00、土曜日 10:30～19:00

① 情報センター・図書室来室者数

区 分	一般(人)	宿泊研修員(人)	計(人)	一般比率 (%)	研修員比率 (%)
総 数	5,958	384	6,342	93.9	6.1
1日平均	19.6	1.3	20.9		

② 情報センター・図書室相談・問合せ件数

内 容	一 般 (件)	宿泊研修員 (件)	計 (件)	一般比率 (%)	研修員 比率(%)
1 センター事業・研修等、施設利用・案内	139	21	160	86.9	13.1
2 国際交流・協力 NGO、ボランティア	3	0	3	100	0
3 教育・学習・語学・留学等	0	0	0	0	0
4 異文化理解（ホームステイ・文化交流（折り紙等）・行事・催し）	204	3	207	98.6	1.4
5 生活一般（医療・公共サービス・観光・交通・宿泊・レンタル他）	0	7	7	0	100
6 その他	12	2	14	85.7	14.3
計	358	33	391	91.6	8.4

③ 蔵書購入 令和6年度実績：図書 273冊、CD 1枚、DVD 9本

④ リサイクルフェアの実施

令和7年2月15日 参加90名 来室280名

⑤ 英語の絵本の読み聞かせの実施

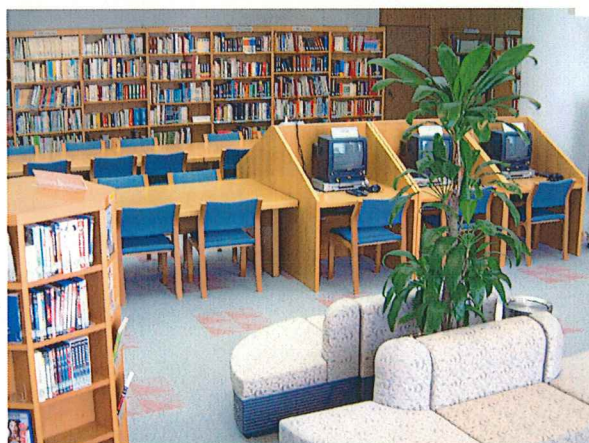
28回（随時実施）

⑥ 利用者数、貸出数

(参考) 過去の実績

(単位：人、件)

区分／年度	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
利用者総数	2,445	1,493	3,592	4,947	6,342
うち一般利用者数	2,128	1,330	3,176	4,469	5,958
うち宿泊研修員利用者数	317	163	416	478	384
相談・問合せ件数	204	254	402	369	391
貸出数(図書、雑誌、AV合計)	4,969	3,484	5,801	7,268	7,975



(情報センター・図書室)



(情報センター内展示)

(研修部：Ⅱ 地域の国際化推進事業)

24 NGOの人材育成・情報提供事業

1 目的

地域レベルでの国際協力に対する県民理解を深めながら、本県の国際化の貢献に寄与する草の根の国際協力・国際貢献活動を行う人材の育成を図る。

また、NGO交流室を活用し、NGOの活動や情報提供を推進する。

2 事業概要

(1) 「草の根国際協力活動支援事業」：県内のNGO活動を支援するため、「草の根国際協力基金」を創設（平成10(1998)年度）し、県内NGO団体の活動を助成

平成26年3月及び令和3年12月にピース・アーチ・ひろしまプロジェクト実行委員会から寄附を受け、支援を拡充

(2) NGO交流室の運営（平成9(1997)年度開始）：NGO交流室を活用し、県内外のNGO活動や情報収集・提供を推進

3 令和6年度実績

(1) 草の根国際協力活動支援事業

8団体に対し5,391,000円の交付決定を行った。

(2) NGO交流室利用状況

利用者数	揭示申込数	団体ファイル設置数
313人*	351件	57団体 (市町村広報を含む)

*個人による自習を含む。

(参考) 過去の実績

(単位：円、人)

事業区分／年度		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
資金協力	草の根国際協力基金(収入)	0	0	0	0	0	14,432,428	0	0	2,497
	草の根国際協力助成(支出)	4,193,832	5,597,229	5,703,475	1,817,400	3,694,183	66,174	440,000	4,398,543	5,276,972
情報収集・提供	NGO交流室利用者数	584	583	339	492	0	0	0	10	313

注：草の根国際協力助成（支出）は、各年度に支出した助成金の額。（前年度以前に交付決定した事業を含む。）

(研修部：Ⅲ ひろしま国際プラザ施設管理運営事業)

25 ひろしま国際プラザ施設管理運営事業

1 目的

広島県立広島国際協力センターと独立行政法人国際協力機構(JICA)中国センターの合築施設である「ひろしま国際プラザ(HIP)」を、両者からの委託により一体的に管理し、中四国地方の国際協力事業の拠点施設として効果的に活用されるように総合的に運営を行う。

2 事業概要

- (1) 広島国際協力センターの管理運営 (令和6(2024)年度～令和10(2028)年度 第5期指定管理者)
- (2) JICA中国センターの管理運営

3 令和6年度実績

- (1) 研修・講習会実績

(単位：コース、人)

区 分	コース数	人数	備 考
広島県研修	6	102	日本語高等研修、海外日本語教師養成研修 JETプログラム日本語・日本文化研修等
JICA研修	73	335	課題別研、国別研修、青年研修、日系研修 等※HIC受託分含む
HIC独自研修	16	241	グローバルリレーションズ・プログラム、青少年等日本文 化体験研修、企業等国際化研修、グローバル 人材育成事業
その他	18	204	企業、大学、協同組合等が実施する国際化 研修等による施設利用
計	113	882	

※人数はリモート研修の研修員を含む。

- (2) 宿泊室利用実績

(単位：人泊、%)

区 分	令和6年度 利用者数(A)	令和6年度 利用率	令和5年度 利用者数(A)	令和5年度 利用率	増減率 (A/B)
広島国際協力センター	9,792	36.7	9,476	35.5	103.3
JICA中国センター	7,323	41.8	8,413	47.9	87.0
計	17,115	38.8	17,889	40.4	95.7



【ひろしま国際プラザ】